

事業報告書 (令和 3 年度)

事業名 生き方百科 だっぴ 50×50

団体名 特定非営利活動法人だっぴ 担当者名 森分志学

※活動の様子がわかる写真（データもお願いします）と説明を必ず添付してください。

1. 活動内容（日時、場所、参加対象者、人数、内容等）

学生のみの実行委員（大学生7人）を組織し、以下の企画を実行した。

期間：2021年4月～2022年3月

内容：若者と大人が対話を通してお互いの価値観や経験を共有することで、若者が視野を広げ、さらなる自分の可能性を追求できるきっかけをつくる。これからの地域社会を担う若者のキャリア開発のサポートによって、地域の持続可能性を高める。

■つながる6×9だっぴ

日時：2021年9月21日（火）14:00～17:00

場所：オンライン

対象と参加者数：学生7人、大人6人

■だっぴ50×50

日時：①2022年3月12日（土）13:00～16:00

②2022年3月13日（日）13:00～16:00

※新型コロナウイルスの関係で日程を延期しての実施

場所：岡山県生涯学習センター

対象と参加者数：学生37人、大人45人

2. ESDの視点を取り入れたところ、ESDの視点で見直したところ

本企画の中で若者たちと触れ合った多くの大人たちが、岡山の地で様々分野の課題解決に取り組んでいる存在であり、「今すでに持続可能な社会をつくっているプレイヤー」であった。そのプレイヤーたちが見ている景色や考えている感覚を対話の中で若者たちが追体験・想像することを通して、若者たちもまた次の持続可能な社会をつくっていくステージに立つことができる。

3. 取組の成果（参加者にどのような意識や行動の教育上の成果があったか。感想など）

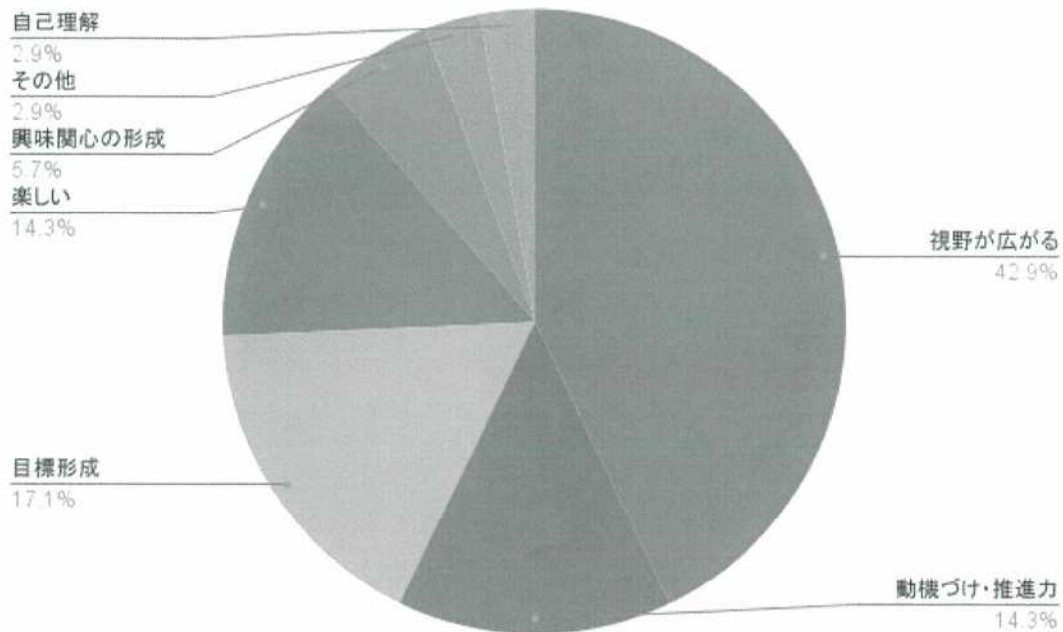
※事業内容がESDにどう貢献したか等を記入してください。

【参加者の感想】

- ・ この学び・繋がり・経験をその「先」へ自分で切り開き生み出していきたいと思いました。
- ・ 違う価値観や意見を聞いて取り込むことは今後自分が生きていく中で確実に武器になると感じた。立場や出身の違う人同士で集まる経験はそれほど多くないのでいい刺激になった。

- ・ いつも決まった世代や、同じ学科の人達としか、将来についてや自分の考えを共有していなかったが、幅広い世代、分野からの意見が聞けて世界が広がった！

参加者の感想をラベリング・カテゴリーごとに分けていくと、下図グラフのような構成比になり、「視野が広がる」42.9%「目標形成」17.1%「動機づけ・推進力」14.3%が上位回答となった。



これらの結果は、持続可能な社会をつくる担い手という観点から、「広く世界を知り、その社会に参画していこうとする」意識変容をもたらしたと考える。

4. 今後の課題と展望

現在の社会を構築する担い手から、次の担い手となる若者たちに、その存在をもって経験や知識、熱量を伝播の場であった一方で、若者たちがその「社会」に自ら参加し、社会をつくるアクションに挑戦する仕掛けをつくっていききたい。若者と社会をつなぐNPOとしてできる社会への貢献としてそのハブ機能を質・量ともに拡大していく。

イベント当日の対話の様子

